

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

障害者支援課

1 施設の概要等

施設名	広島県聴覚障害者センター		
所在地	広島市南区皆実町一丁目 6 - 2 9		
設置目的	無料（又は低額な料金）で聴覚障害者用の録画物等を製作若しくは利用に供し，又は手話通訳等を行う者の養成若しくは派遣の便宜を供与するとともに，相談業務を実施する。		
施設・設備	ビデオ等製作室，試写室，研修室兼会議室，交流スペース，情報提供スペース，相談室，多目的室，運営事務室等		
指定管理者	1 期目	H29. 1. 5～H33. 3. 31	（一社） 広島聴覚障害者協会

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	利用者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	1 期	28 上段：導入後 (下段：通年)	—	3,404 人 (5,472 人)	—	—
	27 (導入前)		—	2,943 人	—	—
増減理由	(平成 29 年 1 月に，施設規模・機能を拡充し，場所を移転して新たに開設したものであり，単純に比較できないことから，対前年度増減・対目標値増減欄は記載していない。)					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	来場者からの意見聴取等	2 2 名
	【主な意見】	【その対応状況】
	展示品の詳細を知りたい。	福祉機器（情報機器・日常生活用具等）展示棚に説明文を付記し，一目で内容がわかり易いものにした。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業実績報告書，収支決算書
	月報	○	管理運営業務実績報告書
	日報（必要随時）	—	
管理運営会議（毎月開催）	【特記事項等】 センター職員による会議を毎月開催 【指定管理者の意見】 事業の進捗状況を確認し，事業計画書に基づいた管理運営を行った。		
現地調査（随時開催）	【県の対応】 概ね適切に管理運営が実施されていることを確認した。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額 上段：導入後 (下段：通年)	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	
	1期	28	4,871 (7,952)	(3,834)		該当なし			
	27(導入前)		(4,118)						

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		H28 決算額 上段：導入後 (下段：通年)	H27 決算額 (導入前)	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	4,871 (7,952)	(4,118)	(3,834)	平成29年1月に、施設規模・機能を拡充し、場所を移転して新たに開設したものであり、単純に比較できないことから、主な増減理由等は記載していない。
		料金収入	0 (0)	(0)	(0)	
		その他収入	9 (9)	(0)	(9)	
		計(A)	4,880 (7,961)	(4,118)	(3,843)	
	支出	人件費	2,607 (4,365)	(2,447)	(1,918)	
		光熱水費	578 (578)	(0)	(578)	
		設備等保守点検費	509 (1,367)	(1,134)	(233)	
		清掃・警備費等	0 (0)	(0)	(0)	
		施設維持修繕費	26 (26)	(0)	(26)	
		事務局費	1,160 (1,625)	(537)	(1,088)	
		その他	0 (0)	(0)	(0)	
	計(B)	4,880 (7,961)	(4,118)	(3,843)		
	収支①(A-B)		0 (0)	(0)	(0)	
	自主事業 (※)	収入(C)	—	—	—	
支出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支①+②		0 (0)	(0)	(0)		

※自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	<p>旧センターから引き継いだ、手話・字幕付きビデオライブラリーの台帳照合作業を行った。また、DVDの閲覧棚を増設するとともに、新作の所蔵作品について紹介ポップを付すなど、貸出・閲覧の利用促進を図った。</p> <p>平成29年4月から当センター事業となる手話通訳者の養成・派遣及び盲ろう者向け通訳・介助員派遣について、円滑な事業実施に向けた準備を行った。</p>	<p>施設の設置目的に沿った業務の実施がなされており、次年度に向けた準備も着実に進めている。</p>
	○業務の実施による、県民サービスの向上	<p>相談業務やビデオ製作機器に関する職員研修会を開催し、社会福祉援助技術やビデオ制作技術の向上に取り組んだ。</p> <p>また、来場者の意見をもとに、福祉機器展示棚に説明文の付記、交流スペース内の机等の配置換えや相談室の利用対象者の変更などの改善を図った。</p>	<p>職員が積極的に業務スキルの向上に取り組んでおり、利用者の視点に立った施設機能の改善に努めている。</p>
	○業務の実施による、施設の利用促進	<p>平成29年1月の開所に当たって、イベントを開催し、施設をPRした。また、ホームページを開設・更新して、イベント等の情報を発信するとともに、施設案内リーフレットを作成した。</p> <p>広島県ろうあ連盟主催の「耳の日(3月3日)記念大会」の開催に際し、同連盟との連携を図り、聴覚障害者約200名の施設見学につなげた。</p> <p>また、聴覚障害者や手話学習者等が参加する「手話べり会」等を企画・実施し、県民と聴覚障害者との交流を促進した。</p> <p>聴覚障害者等からの各種相談への対応や、パソコン講習会等の聴覚障害者への生活訓練を実施するとともに、関係団体と連携して、福祉機器に関する講習会を開催した。</p>	<p>開所イベントは新聞でも報道されたが、県民に対する周知は今後も行う必要があり、ホームページの更新や広報・啓発冊子の作成・配布による、イベント情報の提供や「聞こえ」に関する相談、情報発信等が求められている。</p> <p>関係団体と連携して施設の周知を行うとともに、県民との交流を図るイベントを実施しており、施設の利用促進が図られている。</p> <p>事業計画に基づき、相談対応、生活訓練の実施及び福祉機器に関する情報発信に努めている。</p>
○施設の維持管理	<p>研修室兼会議室の埋め込み式コンセントの撤去や、情報提供スペースのロッカーの連結固定、廊下の非常灯設定等を行った。</p>	<p>予算の制約がある中、県と連携して施設管理・安全管理面での充実を図った。</p>	
管理の人的基礎	<p>○組織体制の見直し</p> <p>○効率的な業務運営</p> <p>○収支の適正</p>	<p>センター職員として常勤職員3名、非常勤職員2名を配置し、厳しい体制ではあるが、運営体制の効率化を図り、適切な施設運営に努めている。</p> <p>また、消耗品等については、日々の節約・節制に努めている。</p>	<p>予算の制約がある中、施設の効率的な運営に努めており、事業計画・収支予算に沿った運営がなされている。</p>

<p>総括</p>	<p>平成 29 年 1 月に新たに開所したばかりの施設であり、職員皆が手探りの状況の中ではあったが、職員ミーティング等において効率的な業務運営について協議し、事業計画に沿った業務遂行に努めた。</p>	<p>従来施設の規模・機能を拡大して新たな聴覚障害者センターが開設されたのと同時に指定管理業務が開始されたことから、円滑な業務実施が行われるよう履行状況を適宜確認してきたところであり、概ね事業計画どおりの取組がなされ、次年度開始事業の準備も進められた。</p> <p>収支も概ね計画どおりで、適切な施設運営がなされている。</p>
-----------	---	---

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (平成 29 年度)</p>	<p>○アンケート実施の充実を図る。</p> <p>○ホームページ上のイベント情報の充実やセンター紹介ビデオ（字幕付き）の作成を行う。</p>	<p>○利用者等のニーズの把握により、県民サービスの向上が期待される。</p> <p>○イベントや施設機能の周知により、聴覚障害者をはじめとした利用者の増加を図る。</p>
<p>中期的な対応</p>	<p>ビデオの字幕制作等のセンター業務に係るボランティアの養成、組織化を図るなど、県民（利用者とボランティア間等）の交流促進を図る。</p>	<p>県民と聴覚障害者との交流促進のため、ボランティアの養成、組織化等の施設機能の向上を図る。</p>